

第6回琵琶湖保全再生推進協議会幹事会議事概要

1 日時

令和4年9月7日（水）16:05～17:05

2 出席者

会議資料の出席者名簿のとおり

3 議事概要

(1)開会

(2)幹事長挨拶

環境省水・大気環境局 秦局長及び国土交通省 秋山大臣官房審議官から挨拶。

(3)議事

①琵琶湖の保全及び再生の状況について

資料1により、滋賀県から説明。

②琵琶湖の保全及び再生に関する施策の実施状況について

各資料により、国土交通省、環境省、農林水産省、文部科学省および滋賀県から説明。

資料2-1 国土交通省国土政策局：施策の実施状況の概要

資料2-2 環境省：琵琶湖保全再生等推進費等

資料2-3 国土交通省水管理・国土保全局：野洲川瀬・淵再生

資料2-4 農林水産省：ホンモロコ等の産卵・繁殖の場となるヨシ帯造成

資料2-5 文部科学省：文部科学省における環境教育の取組

資料2-6 滋賀県：水産資源の回復の取組等

③琵琶湖保全再生施策の推進に関する意見交換

(滋賀県)

- 琵琶湖淀川流域連携の取組事例について、県外では7月1日の「びわ湖の日」に関連した取組として、琵琶湖と関わる様々な活動を発信するため、京都市の琵琶湖疏水記念館における特別展示や、中学校と連携した環境学習など行っている。
- 関西広域連合でのカワウ対策や、京都市と天津市の連携による琵琶湖疏水通船復活の取組などにより連携・協力している。
- 大阪湾再生推進協議会での大阪湾再生巡回展の開催や京都市との琵琶湖疏水に関する情報交換会を開催し、下流府縣市との情報共有を行っている。
- 県内における取組としては、関西広域連合の事業の一環として、滋賀県の小学5年生全員が乗船する学習船である「うみのこ」に、下流府縣市の学校の親子にも乗っていただく機会を設けている。今年度は3回の実施を予定しており、2回実施済みである。下流府県をはじめ県外の方々に琵琶湖

に触れ、理解を深めていただいている。

- ・ 琵琶湖および淀川流域の保全再生には、琵琶湖の水源の森から大阪湾までの一体的な対策が大変重要と考えている。
- ・ 今後とも皆様とともに連携しながら、琵琶湖の保全再生を進めてまいりたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

(京都市)

- ・ 琵琶湖疏水は令和2年4月に竣工130周年を迎え、日本遺産に認定された。これに伴って受入れ環境整備を進めており、水路、石積の改修、キロポスト(1kmごとの距離を示す道標)の整備を行い、その中で散策マップを発行して認知度を向上させようとしている。
- ・ 琵琶湖疏水と言えばサスペンスドラマの撮影でも使用される場所であり、船越英一郎さんを起用してキャンペーンを行ったりしている。
- ・ 観光に関する取組では、琵琶湖疏水の通船を昭和26年に休止したが、平成30年春から本格運用を始めている。今年度も春と秋に運行しており、10月からの秋季運行についても感染症対策を行いながら準備を進めており、併せて琵琶湖疏水の認知度を向上させようとしている。

④その他

(資料の公表について)

- ・ 資料1および参考資料2-1を琵琶湖保全再生法第23条に基づく公表資料として、後日国土交通省・環境省・滋賀県のホームページに掲載する。

(4)閉会

滋賀県江島副知事より挨拶

-以上-